

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社ニコン	事業所名	熊谷製作所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	運輸担当の子会社と運輸の協力会社で、定期的に連絡会議を行いCO2削減について検討している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	運輸担当の子会社と運輸の協力会社が定期的に関く連絡会議において、環境配慮の確認を行っている。取引先に対するISO14001監査において、輸送の環境配慮を項目として取り上げ、改善を促している			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	共同輸送を利用している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	適正車種と適正台数の手配を行っている。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	製造子会社からの納品は定期便を利用			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	納品のトラックは、毎日ほぼ同じ時間帯に到着するので、待ち時間は発生していない。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	運輸担当の子会社と運輸の協力会社で行う連絡会議において実施要請している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	構内が広いので路上駐車はなく、アイドリングストップの掲示板を設置し防止に努めている(アイドリングストップは100%の実施)。トラック荷室の空調は建屋の外壁に設置したコンセントからの電気を利用することにより、アイドリングストップを継続	○	○	○

### 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社ニコン	事業所名	熊谷製作所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02 公共交通機関への転換の推進 ----- ( 02 ) 送迎バス等の運行		朝の通勤バスは19本、帰りの通勤バスも19本運行。 昼間の最寄り駅と製作所を往復するバスは21本運行。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 01 ) 自転車の安全利用の促進		所轄警察署による交通安全教育の実施。			○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- ( 02 ) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理		利用台数を上回る屋根付きの駐輪場を設置し維持している。			○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- ( 04 ) テレワーク制度の導入		現在、新型コロナウイルス対策としても、出勤率30%となるよう制度の実施に努めている。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

07 時差通勤の実施 （ ）	スーパーフレックス制度を導入し、コアタイム無しとし通勤時間は各自選択可能となっている。	○	○	○
-------------------	---	---	---	---